

2022年度<第7期>

事業計画書  
収支予算書

自 2022年4月 1日  
至 2023年3月31日

一般財団法人  
日本漢方医学教育振興財団  
東京都千代田区内神田三丁目2番9号

## 2022年度事業計画

当法人は、日本の伝統医療である漢方医学の普及・定着・発展を奨励し、医学教育関連事業を通じ、日本におけるこれからの「良き医療」を提供できる社会貢献活動に寄与することを目的として設立された。

漢方医学教育の調査および研究を助成奨励することにより、漢方医学教育推進に寄与し、医学生・研修医への医学教育における漢方医学教育のシステム構築を図り、漢方医学教育の進歩・発展に貢献する事業活動を行う。

### 1. 漢方医学教育研究助成事業（2022年度新規募集）

大学、研究所、病院、その他公的私的研究機関において、医学生・研修医に対する漢方医学教育のシステム構築を図り、研究を行う研究者又は研究機関等に助成する。

<募集および選考方法>

募集は、「研究助成実施要項」に則り、本財団ホームページに公開した上、公募を行う。

選考は、応募者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

<公募期間>	5月～6月
<助成件数>	7件程度とする。
<助成金額>	「一般研究」： 1件100万円以内
	「グループ研究」： 1件200万円以内
	助成金予算総額 900万円

### 2. 漢方医学教育研究助成事業（2021年度継続研究）

この事業は、研究者の中間報告に基づき、選考委員会で審議の上、理事会にて承認された研究者又は研究機関等に2年目の助成をする

<2021年度採択対象：助成2年目件数>	5件
<助成金額>	「一般研究」： 3件合計260万円
	「グループ研究」： 2件合計400万円
	助成金予算総額 660万円

### 3. 漢方医学教育研究普及事業

漢方教育に係る教育資料作成やe-learningやPBL、TBL等、財団の指定する特定テーマに関する研究活動に対して助成金を交付する。

<次年度以降より実施予定>

#### 4. 漢方医学教育推進事業

漢方医学教育に関する医学教育の推進団体・組織への支援（イベント共催及び寄付）を行う。

<助成件数> 5件程度とする  
<助成金予算総額> 400万円

#### 5. 漢方医学教育褒賞事業

大学医学教育モデル・コア・カリキュラムに「漢方医学」が導入されて以降、大学医学部での漢方医学教育の推進及びシステム構築研究活動等に寄与した漢方医学教育研究者又は研究機関等を表彰する。

また、漢方医学教育研究助成事業において、優秀な成果をあげた医学教育研究者を表彰する。

<募集および選考方法>

募集は、「漢方医学教育研究業績表彰<実施要項>」に則り、本財団ホームページに公開した上、公募を行う。

選考は、応募者の中から選考委員会が推薦し、理事会で決定する。

<公募期間> 5月～6月  
<表彰件数> 「奨励賞」「功労賞」：各2件以内とする  
<表彰内容> 賞金（1件 20万円）

#### 6. 研究助成報告事業

「漢方医学教育研究助成事業」「漢方医学教育研究普及事業」において助成を受けた研究者・研究機関等、ならびに「漢方医学教育褒賞事業」で表彰を受けた研究者・研究機関等の成果報告及び発表の場とする。

<開催時期> 年1回（毎年2月開催予定）

#### 7. 短期実地研修支援事業

漢方医学教育の組織横断的な Faculty Development(FD)の構築を目指し、漢方医学教育に携わる教員の資質向上ならびに教育施設における「研修システム」拡充の支援活動を目的として「漢方医学教育 短期実地研修」支援事業を行う。

<支援件数> 20件程度とする  
<支援金予算総額> 300万円

## 8. 教材・e-learning 推進事業活動

全国の大学において漢方医学教育の推進を図るために、財団ホームページに漢方医学教育に供する教材ならびに学習システム（e-learning）を設置する。漢方教材は、各大学における漢方講義の効率化と平準化を目的とし、漢方 e-learning は、医学生、研修医、教育者が漢方医学を自己学習する環境を整えることを目的とする。

<教材研究助成・委託件数> 2件程度とする

<助成金・委託費予算総額> 200万円

## 9. 医学生漢方サークル支援事業

大学・医学部における医学生の漢方サークル活動に対して支援活動を実施する。

<支援件数> 20件程度とする

<支援金予算総額> 150万円

## 10. その他目的達成事業

広告（パンフレット・ポスター）

財団事業活動記録集作成

その他事業

## 2022年度収支予算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	60,000,000	80,000,000	△ 20,000,000
受取寄付金	60,000,000	80,000,000	△ 20,000,000
<b>経常収益計</b>	<b>60,000,000</b>	<b>80,000,000</b>	<b>△ 20,000,000</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>65,240,000</b>	<b>69,952,000</b>	<b>△ 4,712,000</b>
給料手当	12,940,000	12,800,000	140,000
臨時雇賃金	0	20,000	△ 20,000
賞与引当金繰入額	160,000	150,000	10,000
福利厚生費	575,000	545,000	30,000
旅費交通費	7,205,000	8,035,000	△ 830,000
支払助成金	25,100,000	27,010,000	△ 1,910,000
褒賞費	800,000	800,000	0
会場費	2,400,000	4,200,000	△ 1,800,000
会議費	300,000	330,000	△ 30,000
諸謝金	1,800,000	2,130,000	△ 330,000
広報費	0	600,000	△ 600,000
委託費	4,760,000	5,920,000	△ 1,160,000
通信運搬費	990,000	480,000	510,000
消耗什器備品費	140,000	72,000	68,000
消耗品費	250,000	214,000	36,000
印刷製本費	4,750,000	4,200,000	550,000
光熱水料費	150,000	120,000	30,000
賃借料	2,710,000	2,236,000	474,000
保険料	5,000	4,000	1,000
支払手数料	80,000	48,000	32,000
減価償却費	10,000	8,000	2,000
雑費	115,000	30,000	85,000
<b>管理費</b>	<b>25,100,000</b>	<b>30,718,000</b>	<b>△ 5,618,000</b>
役員報酬	4,130,000	3,150,000	980,000
給料手当	9,260,000	13,010,000	△ 3,750,000
賞与引当金繰入額	260,000	390,000	△ 130,000
福利厚生費	1,015,000	1,245,000	△ 230,000
旅費交通費	3,035,000	4,135,000	△ 1,100,000
会議費	1,100,000	1,100,000	0
諸謝金	1,680,000	1,770,000	△ 90,000
委託費	450,000	780,000	△ 330,000
通信運搬費	240,000	390,000	△ 150,000
消耗什器備品費	140,000	158,000	△ 18,000
消耗品費	180,000	216,000	△ 36,000
印刷製本費	300,000	350,000	△ 50,000
光熱水料費	150,000	180,000	△ 30,000
賃借料	2,710,000	3,354,000	△ 644,000
租税公課	10,000	10,000	0
保険料	5,000	6,000	△ 1,000
新聞図書費	10,000	10,000	0
諸会費	200,000	300,000	△ 100,000
慶弔費	50,000	50,000	0
支払手数料	90,000	82,000	8,000
減価償却費	10,000	12,000	△ 2,000
雑費	75,000	20,000	55,000
<b>経常費用計</b>	<b>90,340,000</b>	<b>100,670,000</b>	<b>△ 10,330,000</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 30,340,000</b>	<b>△ 20,670,000</b>	<b>△ 9,670,000</b>
<b>税引前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 30,340,000</b>	<b>△ 20,670,000</b>	<b>△ 9,670,000</b>
法人税等	70,000	70,000	0
<b>税引後当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 30,410,000</b>	<b>△ 20,740,000</b>	<b>△ 9,670,000</b>
II 指定正味財産増減の部			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

# 2022年度収支予算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	34,830,000	25,170,000	60,000,000
受取寄付金	34,830,000	25,170,000	60,000,000
<b>経常収益計</b>	<b>34,830,000</b>	<b>25,170,000</b>	<b>60,000,000</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>65,240,000</b>		<b>65,240,000</b>
給料手当	12,940,000		12,940,000
賞与引当金繰入額	160,000		160,000
福利厚生費	575,000		575,000
旅費交通費	7,205,000		7,205,000
支払助成金	25,100,000		25,100,000
褒賞費	800,000		800,000
会場費	2,400,000		2,400,000
会議費	300,000		300,000
諸謝金	1,800,000		1,800,000
委託費	4,760,000		4,760,000
通信運搬費	990,000		990,000
消耗什器備品費	140,000		140,000
消耗品費	250,000		250,000
印刷製本費	4,750,000		4,750,000
光熱水料費	150,000		150,000
賃借料	2,710,000		2,710,000
保険料	5,000		5,000
支払手数料	80,000		80,000
減価償却費	10,000		10,000
雑費	115,000		115,000
<b>管理費</b>		<b>25,100,000</b>	<b>25,100,000</b>
役員報酬		4,130,000	4,130,000
給料手当		9,260,000	9,260,000
賞与引当金繰入額		260,000	260,000
福利厚生費		1,015,000	1,015,000
旅費交通費		3,035,000	3,035,000
会議費		1,100,000	1,100,000
諸謝金		1,680,000	1,680,000
委託費		450,000	450,000
通信運搬費		240,000	240,000
消耗什器備品費		140,000	140,000
消耗品費		180,000	180,000
印刷製本費		300,000	300,000
光熱水料費		150,000	150,000
賃借料		2,710,000	2,710,000
租税公課		10,000	10,000
保険料		5,000	5,000
新聞図書費		10,000	10,000
諸会費		200,000	200,000
慶弔費		50,000	50,000
支払手数料		90,000	90,000
減価償却費		10,000	10,000
雑費		75,000	75,000
<b>経常費用計</b>	<b>65,240,000</b>	<b>25,100,000</b>	<b>90,340,000</b>
当期経常増減額	△ 30,410,000	70,000	△ 30,340,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 30,410,000	70,000	△ 30,340,000
法人税等		70,000	70,000
税引後当期一般正味財産増減額	△ 30,410,000	0	△ 30,410,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

## 2022年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

1. 資金調達の見込みについて  
借入の予定はありません。
2. 設備投資の見込みについて  
重要な設備投資の予定はありません。